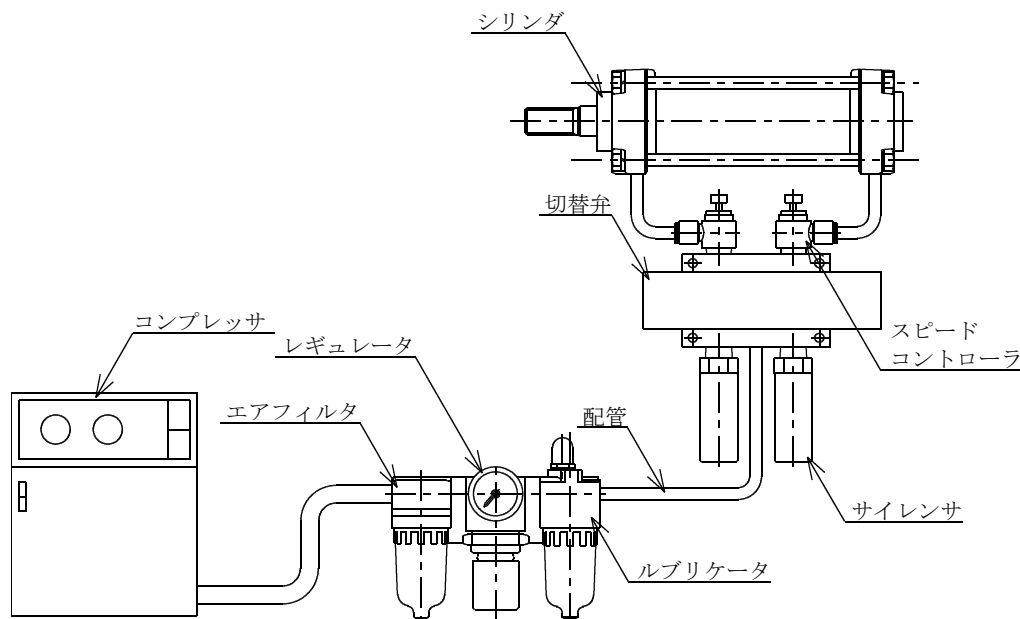


| | | | |
|-------|--------|---|--|
| 取扱説明書 | 空圧機器一般 | △ | |
| | | △ | |
| | | △ | |

1. 適用範囲

圧縮空気を供給するコンプレッサ及び、それらを使用して作動するシリンダー、アクチュエーター、付属機器について説明します。

2. 各部の名称



3. 機能説明

3-1 コンプレッサ

圧縮空气中を供給する装置で、その機構（圧縮原理）によりレシプロ式・ロータリ式・スクリュウ式に分類されます。また空気を圧縮するとき発生する水分はドレンにより定期的に排出して下さい。

3-2 エアフィルタ

圧縮空气中のゴミ・ドレン・水分を除去し、シリンダ及び切換弁のパッキンや摺動部の損傷を防ぐための機器です。たまった不純物はドレンにより排出して下さい。

3-3 レギュレータ

圧縮空気を一定に減圧し、安定供給させるための機器です。本体に圧力計が装備されているので、ハンドルにより圧力を調節してからロックして下さい。

3-4 ルブリケーター

給油の必要なシリンダ及び電磁弁に、潤滑油を自動的に供給する機器です。潤滑油はタービン油1種ISO VG32（スピンドル油は使用不可）を使用して下さい。滴下量はシリンダ使用時10秒毎に1滴ぐらいが適当です。

3-5 切換弁

圧縮空気の流れを開閉したり、方向を切換えたりするための機器です。電磁石を用いた電磁弁と、人力による手動弁があります。電磁弁はゴミ等による動作不良が発生する事もありますので、定期的に動作確認して下さい。

3-6 サイレンサ

電磁弁に取り付けて、動作時の大気放出音を消音します。また排気時にシリンダ等から出る水分及び油等の拡散も小さくする効果があります。長期使用したものは、内部が目詰まりしてシリンダ等の動作に影響しますので注意して下さい。

3-7 スピードコントローラ

シリンダの動作時間の調整に使用します。弊社の基本は排圧側の流量を調節して行うメータアウト回路を使用しています。スピード調節は一度行えば、ほとんど必要がありませんが外的要因による破損等がないか注意して下さい。

3-8 シリンダ

圧縮空気を用いて直動運動をさせるための機器です。出力が大きいものもあるため動作前には充分注意して下さい。機械的には、パッキン類の寿命等によるエアもれが起きやすく、また取付不良等による破損もありますので注意して下さい。

3-9 配管

機器と機器とを接続するためのもので、ガス管・ナイロンチューブ・ウレタンチューブ等があります。接続箇所におけるエアもれがないか充分確認して下さい。

3-10 圧力スイッチ

機械式と電気式に分類され、設定した圧力に異常がある場合に、検出して制御系に電気信号を送ります。装置全体の安全装置ですので、設定圧で動作するか定期的に点検して下さい。

| 点検リスト | | 空圧機器一般 | | | △ | |
|--------|----------------|---------|----------|------|----|--|
| | | | | | △ | |
| | | | | | △ | |
| 点検 | 点検箇所 | 符号 | 点検項目 | 診断方法 | 備考 | |
| 日常 | レギュレータ | | 設定圧力 | 目視 | | |
| 15日 | コンプレッサ | | ドレン抜き | 目視 | | |
| | エアフィルタ | | ドレン抜き | 目視 | | |
| | ルブリケータ | | 油量 | 目視 | | |
| | | | 滴下量 | 目視 | | |
| 30日 | 電磁弁 | | 動作異常 | 目視 | | |
| | | | 電圧値 | 計測 | | |
| | スピード コントローラ | | シリンダ動作速度 | 目視 | | |
| | シリンダ | | エアもれ | 聴診 | | |
| | | | クッション効果 | 目視 | | |
| | 配管 | | エアもれ | 聴診 | | |
| 圧力スイッチ | | 設定圧での動作 | 計測 | | | |
| 1年 | エアフィルタ | | 目詰まり | 目視 | | |
| | サイレンサ | | 目詰まり | 目視 | | |